

通 告 質 問 一 覧 表

(平成28年9月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	2	6 番 森 田 仲 一	<p>1 在宅医療について</p> <p>(1) これからの独居老人世帯及び高齢者世帯の介護・医療・生活支援について、どのような計画を持っているのか</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムの構築状況について問う</p> <p>(3) 在宅での医療及び介護と施設での医療及び介護の個人負担について問う</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>(1) 県下でのふるさと納税の結果について、検証はされたのか</p> <p>(2) 納税額の多い少ないにかかわらず、返礼品が自治体間の知恵比べと言われている。我が市のPRも兼ねた返礼品を考えてはどうか</p> <p>(3) 「企業版ふるさと納税」が制度化されているが、取り組み状況はどうなっているのか</p>
2	4	19 番 難 波 英 夫	<p>1 農業振興対策について</p> <p>(1) 本市における水田農業の位置づけについて、どのように考えるか</p> <p>(2) 荒廃水田を出さない対策について問う</p> <p>(3) 耕作意欲を高める最大の施策は価格と所得の保障ではないか。市の価格保障制度創設を求める</p> <p>(4) 国に対して米の生産費所得保障制度の創設を求めること</p> <p>2 農作物の有害鳥獣被害防止対策について</p> <p>(1) 実行性のある対策が求められているがどうか</p> <p>(2) 野猪等捕獲柵設置補助金及び野猪等防護柵設置補助金の要件緩和と補助率の引き上げを求める</p> <p>3 土地改良区の運営について</p> <p>(1) 実態に合った支援策を求める</p> <p>4 防災行政無線施設について</p> <p>(1) 現在の活用状況を問う</p> <p>(2) 効果、効用は他の施設に転換が困難ではないか</p> <p>(3) 防災行政無線施設の存続と拡充を求める</p> <p>5 定住促進について</p> <p>(1) 市営住宅の空室がふえている。入居促進対策が必要ではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	4	19番 難波英夫	6 消火栓の活用について (1) ホースの更新時期の判断は市の責任で行うこと (2) 緊急時に備えた訓練、研修は市の主導で行うこと
3	10	9番 宮田好夫	1 防犯灯設置補助金について (1) 防犯灯設置補助金が廃止されたときに現在新たな施策を検討しているとあった。どのようなものを考えているのか 2 生活福祉バスについて (1) 生活福祉バスが運行されている地域の中で、バス停まで遠いなどの理由からバス・タクシー券のほうがよかったという声を聞く。市はどのような声を把握しているのか
4	3	10番 小林重樹	1 地域包括ケアシステムについて (1) 平成27年3月に策定した高梁市高齢者保健福祉計画第6期介護保険事業計画の中で地域包括ケアシステムの基盤整備を上げているが、高梁市の現況はどうか問う (2) 地域包括ケアシステム構築に向けた課題及び問題点はどのようなものがあるのか問う (3) 地域包括ケアシステム実現に向けて、将来的にどのような形を構築していくのかを問う (4) 全国の医療ネットワークの中でも最も進んだものとして国や医療業界からも高い評価を受けている「晴れやかネット」と本市の取り組み、関連性について問う 2 定住対策について (1) 定住対策は市の最重要課題としてそれぞれの課でさまざまな施策に取り組まれているが、その中で最も重要と考える施策は何か。また、それはどうしてか
5	8	12番 川上修一	1 合併後12年を振り返り、周辺地域の状況をどのように考えているのか (1) インフラ整備について（道路整備） (2) 地域産業について（農業振興、定住対策） (3) 教育について（学校に係る諸問題） (4) 医療について（診療所） (5) 市民の生活状況について（高齢者の生活をどう守るのか） 2 有害鳥獣駆除について (1) 猟友会との関係はどうか（鳥獣被害対策実施隊を含む） (2) 野猿防護柵の補助率をもう少し上げられないのか

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	6	3 番 石 部 誠	<p>1 今後のごみ処理のあり方について</p> <p>(1) ごみの減量化に対する現在の状況と今後の計画について</p> <p>① ごみの減量化は進んでいるのか</p> <p>② 高梁地域事務組合の構成団体として、今後の焼却炉など設備の更新について、どのように考えているか</p> <p>③ 適正な事業系ごみの取り扱いについて問う</p> <p>④ ごみの有料化について、今後どのように考えているか</p> <p>⑤ ごみ出し困難者の状況把握とその対策について、どのように考えているか</p> <p>⑥ ごみの分別と戸別収集を含めた出し方について問う</p> <p>2 水道料金の今後について</p> <p>(1) 今後の水道料金の利用者負担はどうなるのか</p> <p>(2) 同じ高梁市民でありながら料金負担が違う上水道と簡易水道の料金を上水道に合わせて引き下げるよう求める</p> <p>(3) 一人暮らしなど小水量利用者の料金を軽減する見直しを求める</p> <p>3 国保税について</p> <p>(1) 県の統合と高梁市の財政状況について</p> <p>① 加入者の負担はどうなるのか</p> <p>(2) 3,000万円の法定外繰り入れを計上していたが、今後行う計画はあるのか</p> <p>4 学校給食費の軽減について</p> <p>(1) 給食の単価や保護者負担の状況について問う</p> <p>(2) より一層の地産地消の推進を求める</p> <p>(3) 給食は食育、子育て支援、定住促進につながるものであり、学校給食費の負担軽減を求める</p> <p>5 合併と地域局や市民センターの今後について</p> <p>(1) 合併から12年経過したが、市民生活は豊かになったかどうか</p> <p>(2) 地域局や市民センターや公民館の今後の役割はどうなるのか</p> <p>(3) 統廃合は行わず、職員をふやし機能強化を求める</p> <p>(4) 市広報や選挙公報が全ての市民に届く努力をされているのか</p>
7	7	5 番 三 村 靖 行	<p>1 市道名の変更について</p> <p>(1) 平成 25 年 6 月議会で市道名を高梁にゆかりのある人物名に変更してアピールしてはどうかと質問したが、その後どのような対応をされているのか問う</p> <p>① 前向きに検討する回答をもらったが、あれから 3 年以上経過している。進捗状況を聞きたい</p> <p>② 今後どのように進めるのか問う</p> <p>2 国県道改良について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	7	5 番 三 村 靖 行	<p>(1) 国県道の改良が進んでいない。まだまだ未改良区間が多い。そのため、県に国県道の改良要望を毎年年度初めに提出しているが、その内容について問う</p> <p>① なぜ改良が進まないのか問う</p> <p>② 要望書類の内容を聞く</p> <p>3 備中高梁館の運用について</p> <p>(1) 東京都杉並区にオープンした「備中高梁館」の運用をどのように考えているのか問う</p>
8	1	7 番 大 森 一 生	<p>1 高梁市における公会計改革推進及びその進捗状況と総合戦略、地域創生について</p> <p>(1) 高梁市は少子・高齢化、人口減少など非常に厳しい状況にある。これまで公共事業を中心とした地域経済対策、雇用対策、少子化対策、大学、企業誘致などさまざまな施策が講じられてきた。一定の成果は上げていると思うが、大局的には人口流出、少子化に歯どめはかかっている。その状況について、どのような認識を持っているのか。また、検証は行われたのか</p> <p>(2) 縮小社会に対応した、本市における行政経営の使命と行政経営における公会計情報の戦略的利用の認識、取り組みとその状況について聞く</p> <p>(3) 現行制度での行政運営の限界と公会計改革推進及び本市の持続的発展を前提とした総合戦略と地域創生について聞く</p> <p>① 「まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則」についての認識、定量的分析も含めた市としての取り組みの現状と政策の方向性について聞く</p> <p>② 時代の変化とともに、旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」、新図書館を核にした駅前複合施設などが象徴する、これまでの税金で人を集める政策手法の限界がやってきているように思われるが、どのような認識を持たれているか聞く</p> <p>③ 若者、女性が活躍でき、高齢者も生きがいを感じるような社会資本整備、政策が、換言すれば世代間、地域間リレーのできるまちづくりが、世代、属性、地域間を超えた好循環を創出し、総合戦略、地域再生につながっていく。高梁で働き、高梁で家庭を持ち、高梁で暮らし続けるには何が必要なのか。それには行政、政治の根本的改革、意思決定の再構築が、まず必要だと思うが、現状認識及びその戦略と方向性について聞く</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	1	7 番 大 森 一 生	<p>2 バイオマス（生物、植物由来）資源を核に地域資源を使った持続可能な循環型地域社会の構築と経済振興について</p> <p>(1) これまで電力などのエネルギー政策は国のもとで行われてきた。福島原発事故以降、そのエネルギー政策は不透明のまま。地球温暖化対策も含め、太陽光、バイオマス、小水力発電など再生可能エネルギーの重要性は日ごとに増しているが、本市における循環型社会の構築に向けての取り組みの現状と課題について聞く</p> <p>(2) バイオマス資源を中心とした再生可能エネルギーの利用とそれらに関連した公共施設の再整備、転換を含めた現状と地域創生、持続可能な循環型社会の構築、とりわけ産業振興、経済活性化に結びつける戦略の可能性について聞く。また、それらの効果を農業振興、観光振興、医療・福祉、スポーツ振興などの異分野に、さらに公民連携、大学連携へと波及させていくことが地域共同体の維持、持続可能な社会の実現になるのではないかと。「域内総生産（GRP）と地域（市民）所得との関係性」と「公共性の確立」の視点も含めて聞く</p>
9	9	1 番 石 井 聡 美	<p>1 今後の小中学校のあり方について</p> <p>(1) 備中中学校と成羽中学校統合の進捗を問う</p> <p>(2) 学校統合に関する審議会を設置すべきではないか</p> <p>(3) 今後の学校のあり方について、保護者や地域住民とのタウンミーティングなどを開催すべきではないか</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>(1) 都市計画区域内に多くの空き家が目立つようになってきた。空き家の増加を放置すれば、防災、防犯上の問題が大きい。対策を問う</p> <p>(2) 離れた地域にいる不在地主が気軽に相談できるメール窓口などを設けてはどうか</p> <p>3 旧「ゆ・ら・ら」の活用について</p> <p>(1) ホームページに常時業者を募集する告知を出すなどして、存在をアピールしていくべきではないか</p> <p>4 観光について</p> <p>(1) 現在の観光は体験型に移行している。それに合わせた施策をとっているのか</p> <p>(2) 農村体験や城下町体験ができるような施設の整備が必要ではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	9	1 番 石 井 聡 美	(3) 観光客が訪れる施設の分煙を推進すべきではないか (4) 高校生や大学生を呼び込めるような施策も考えるべきではないか
10	5	16 番 宮 田 公 人	<p>1 子供たちの学力向上に向けた新たな取り組みについて</p> <p>(1) 有漢西小学校では陰山英男先生のメソッドを取り入れて、子供たちの学力向上に取り組んでいる。これをきっかけとして、全市的にこのメソッドに取り組んでどうかと考えるが、教育委員会の見解を示すこと</p> <p>2 農業の活性化に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 破碎した竹の活用方法について、どのような研究を行ったのか経過を示すこと</p> <p>(2) 吉備中央町が実施している、ふるさと納税を活用した米の高額買い取り施策について、どのような研究を行ったのか経過を示すこと</p> <p>(3) 農地の集約、維持管理には機械化が不可欠だが、機械更新にかかる設備投資が巨額となるために耕作の継続を諦めるケースが見受けられる。農機具の更新に対する補助率を大幅にアップすることが有効と考えるが、現状での考え方を示すこと</p> <p>3 ごみ焼却施設の現状と更新に向けた今後の方針について</p> <p>(1) 去る8月9日の高梁地域事務組合の全員協議会において、「ごみ処理施設等施設整備に係る検討について」協議を行ったが、この内容について示すこと</p> <p>(2) 新しい施設の整備方針、建設場所、規模、財源について、今後吉備中央町とどのような形で協議を進めていくのか</p> <p>(3) 市民に対してごみ処理の現状をいかに周知していくのか。今後の方針を示すこと</p> <p>4 旧「ゆ・ら・ら」と周辺施設との相乗効果を生かした神原スポーツ公園エリアの再生について</p> <p>(1) 旧「ゆ・ら・ら」については、神原スポーツ公園や公共の宿「神原荘」の利用者データを示しながら、宿泊機能を付加する形で周辺施設との相乗効果を生かした再生を提案してきたが、これまでの答弁も踏まえ市長の考え方を示すこと</p> <p>(2) 隣接する神原スポーツ公園とハイランド公園の駐車場の収容台数を考えると、旧「ゆ・ら・ら」の駐車場を活用することが有用と考えるが、執行部の見解を示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	5	16番 宮 田 公 人	<p>(3) ハイランド公園の遊具増設やグラウンドゴルフ場のコース増設によって、今以上に交流人口を増加させることができると考えるが、執行部の見解を示すこと</p> <p>5 市長は今期における自身の行政運営について、どのように自己評価するのか</p> <p>(1) 市長自身の今期における行政運営の評価点、反省点を示すこと</p>